

医師・看護師・介護職員的大幅増員を 日本医労連増員闘争ニュース

第 209 号
2014 年 12 月 2 日
日本医労連
増員・夜勤改善闘争本部
TEL:03-3875-5871

選挙・看護職員の需給見通し検討会に合わせ 看護師不足をTBS報道

12月1日、TBSの「ニュース23」で看護師不足問題が取り上げられました。12月1日の厚労省「第1回看護職員需給見通しに関する検討会」に合わせ、実態を知りたいと取材の申し入れが急遽入り、11月30日取材されたものです。14日投票の総選挙にもからんで、社会保障をどうするのかという呼びかけにもなった良いタイミングでした。

急遽の取材には、夜勤明けも含めた東京医労連看護闘争委員のみなさんが協力。高齢患者が多く、どこの職場も看護師不足が深刻で、看護師が疲弊しきっていること、患者さんも我慢を強いられていることなどを具体的に訴えました。

放送の中で、日本医労連が提供した実態調査内容も示され、短時間ではありましたが良い内容だったと思います。医療・介護の過酷な実態を伝え、改善するのは私たちしかありません。

私たちは嫌でも政治との関わりの中で生きています。医療・介護は、政治家や官僚が作った政策の中で行われます。医療・介護労働者を増やしてほしい、安全・安心の医療・介護を実現したいなどの要求を実現する絶好の機会が今度の総選挙です。「棄権は危険」、必ず選挙に行きましょう！

「ニュース23」のホームページ上に、反響や実態を伝えるコーナーがあります。意見を寄せて、もっと注目をしてもらおうようにしましょう！！



「3人に1人が切迫流産... 看護師が足りない 過酷な実態」

100人あたりの看護職員数

順位	都道府県	人数
1	埼玉	7.76人
2	神奈川	7.89人
3	千葉	7.99人
4	東京	8.51人
...
46	鹿児島	18.55人
47	高知	18.56人



12月1日行われた「第1回看護職員需給見通しに関する検討会」は17名構成で、趣旨は以下。「会議の非公開」もあり得るとし、非民主的な感じを受けます。今後の注視が必要です。

【趣旨の概要】

総合法に基づき、看護職員需給見通しの策定のあり方や長期的な推計のあり方、効果的な確保対策を検討する。